

## 梅屋庄吉認知度等調査結果【担当課:文化振興・世界遺産課】

(アンケート期間) 令和4年11月14日～11月27日(14日間)

(調査の目的)

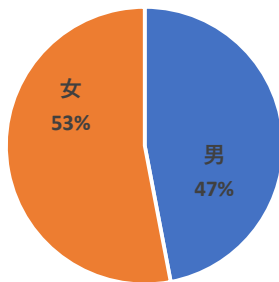
長崎県出身の実業家・梅屋庄吉の県内での認知度を調査し、これまでの取組の検証と今後の施策に役立てるもの

(調査対象) ながさきWEB県政アンケート全モニター338名

(回答状況) 回答者 300名(回答率88.8%)

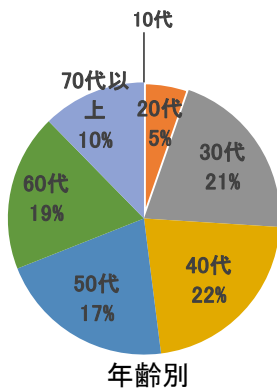
※小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

(回答の属性)



男女別

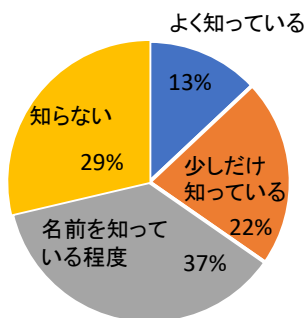
区分	人数	構成比
男	141	47%
女	159	53%
計	300	100%



年齢別

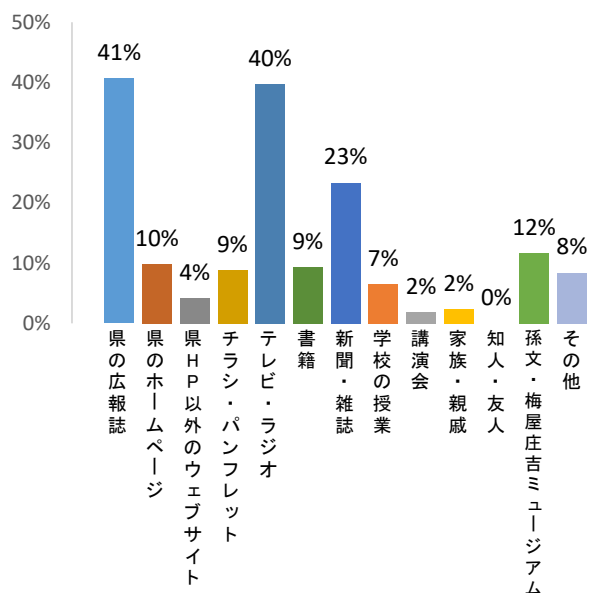
区分	人数	構成比
10代	0	0%
20代	16	5%
30代	62	21%
40代	66	22%
50代	63	21%
60代	56	19%
70代以上	37	12%
計	300	100%

Q1) 梅屋庄吉は、中国辛亥革命の指導者・孫文を物心両面で支え続けた長崎県出身の実業家です。梅屋庄吉のことを知っていますか。



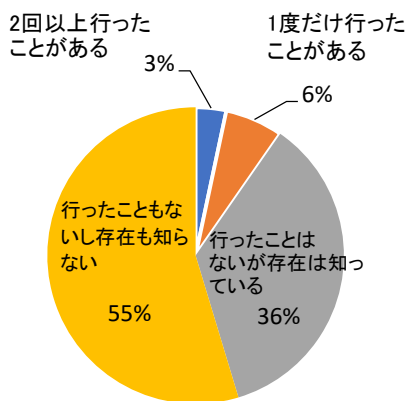
選択肢	回答者数	構成比
1 よく知っている	39	13%
2 少しだけ知っている	65	22%
3 名前を知っている程度	110	37%
4 知らない	86	29%
計	300	100%

Q2) Q1で「知っている」と回答された方にお尋ねします。どこで梅屋庄吉のことを知りましたか(複数回答可)。



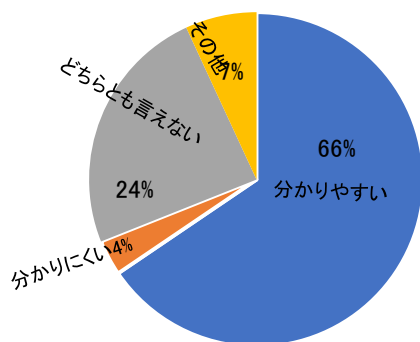
選択肢	回答数	割合
1 県の広報誌	87	41%
2 県のホームページ	21	10%
3 県のホームページ以外のWEBサイト	9	4%
4 チラシ・パンフレット	19	9%
5 テレビ・ラジオ	85	40%
6 書籍	20	9%
7 新聞・雑誌	50	23%
8 学校の授業	14	7%
9 講演会	4	2%
10 家族・親戚	5	2%
11 知人・友人	0	0%
12 孫文・梅屋庄吉ミュージアム	25	12%
13 その他	18	8%
回答対象者	214	—

Q3) 県と長崎市は、平成26年4月に「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム(以下、ミュージアムという。)を長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館に開設しました。ミュージアムへ行ったことがありますか。



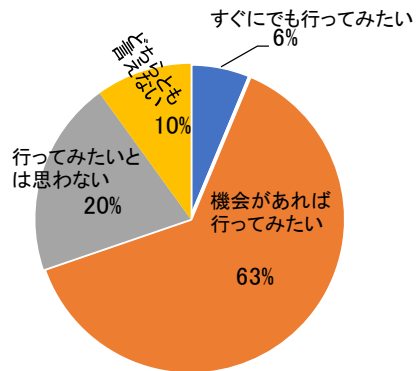
選択肢	回答者数	構成比
1 2回以上行ったことがある	10	3%
2 1度だけ行ったことがある	19	6%
3 行ったことはないが存在は知っている	107	36%
4 行ったこともないし存在も知らない	164	55%
計	300	100%

Q4) Q3で「行ったことがある」と回答した方へお尋ねします。ミュージアムでは、孫文と梅屋庄吉の歴史や日本の近代史における長崎の役割などを紹介していますが、内容は伝わりやすかったですか。



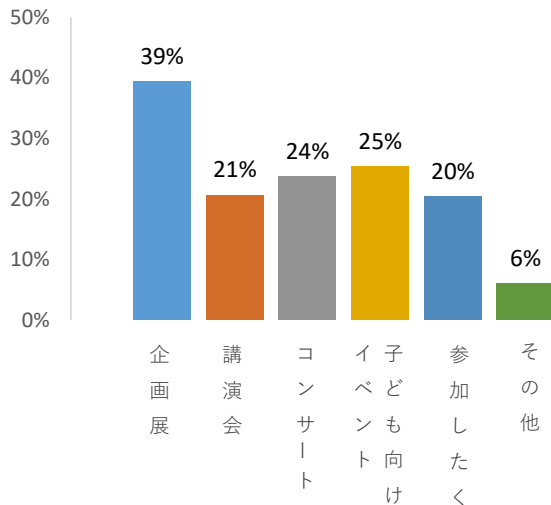
選択肢	回答数	割合
1 分かりやすい	19	66%
2 分かりにくい	1	3%
3 どちらとも言えない	7	24%
4 その他	2	7%
回答対象者	29	100%

Q5) Q3で「行ったことがない」と回答された方にお尋ねします。ミュージアムは、これまでになく設備（一部の展示ケースをタッチパネル式とし、アニメーションなどを通じて展示資料を分かりやすく解説。また、3つの体験コーナーを設置。）を整備していますが、今後行ってみたいと思いますか。



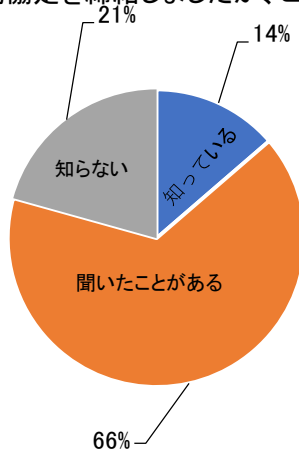
選択肢	回答数	割合
1 すぐにも行ってみたい	17	6%
2 機会があれば行ってみたい	172	63%
3 行ってみたいとは思わない	55	20%
4 どちらとも言えない	27	10%
回答対象者	271	100%

Q6) 県では、孫文や梅屋庄吉の生誕日などの記念日が集中する11月を「孫文・梅屋庄吉友情月間」と定めて、様々な取組を行っています。どのようなイベントであれば参加したいと思いますか（複数回答可）。



選択肢	回答数	割合
1 孫文と梅屋庄吉に関する企画展	118	39%
2 孫文と梅屋庄吉に関する講演会	62	21%
3 ミュージシャンによるコンサート	71	24%
4 子ども向けの切り絵、宝探しなどのイベント	76	25%
5 参加したくない	61	20%
6 その他	18	6%
回答対象者	300	—

Q7) 中国とゆかりの深い長崎県は、辛亥革命はじまりの地である中国湖北省と平成23年(2011)に友好交流協定を締結しましたが、このことをご存知ですか。



選択肢	回答数	割合
1 知っている	41	14%
2 聞いたことがある	197	66%
3 知らない	62	21%
計	300	100%

Q8)その他、「孫文・梅屋庄吉と長崎」プロジェクトに関するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

(主な意見)

- ・世界遺産と同じで、それだけの価値があることを県民にきちんと知らせて欲しい。
- ・校外学習などで学生さんにミュージアムを訪れてもらったり、飲食店に協力してもらいお二人のゆかりのメニューを作ってもらうなど、歴史に興味がなくとも目にするようなしかけがあると知名度が広がると思います。
- ・かわいいキャラクターとか子供向けに説明してもらえたらなと思いました。
- ・若い人や子ども向けのイベントなど、企画してほしい。
- ・何か体験型のイベント等あれば参加してみたい。
- ・梅屋トクさんについても、分かっていることがあれば合わせて紹介し、壱岐も宣伝してほしい。
- ・孫文は知っているが、梅屋庄吉は知らないと言う人が多いと思うので、大々的なイベントをもっと増やしてアピールし、認知度を高めるべきだと考えます。長崎県人でも知らない人が多いと思うので、全国的にというよりもまずは長崎の人に周知する必要があると思います。
- ・県の広報誌などで連載漫画にして少しずつ、継続的に孫文や梅屋庄吉のことについて関心を持たせる。
- ・PR不足と思う。出島メッセ等で歴史展と共にグルメ要素も取り入れたイベントがあれば出向くかもしりません。
- ・せっかく、よいミュージアムがあるので、まずは足を運んでもらうためにもたくさん企画展をしたらよいと思う。また、小中学生の社会科見学コースに入れたり、高校生は歴史で辛亥革命を学ぶので、関連づけて学びができるようにしたらよいと思う。
- ・ランタンフェスティバルなど、商業的・イベント的な企画は力が入るが、歴史的・文化的な企画には十分力が注がれているように思えないし、県民の関心も高くないように思われる。
- ・ドラマ化されたら見るかもしれないです。
- ・例えば、ローカルニュースやトコサタ・ひるじげドンなどの番組等でも、紹介するコーナー(ミニドラマ等)などあれば、若い世代にもう少し認知度が上がるのではないかと思います。
- ・離島在住ですのでその辺を考慮してあちこちでイベントを開催するとかあれば嬉しいです。
- ・どんなにすごい人で、長崎への貢献度がこれだけあって…みたいなことが無いと、どんなイベントがあったとしても興味はわかないと思います。
- ・東長崎でも何かやってほしい。
- ・坂本龍馬やドロ神父等、他の長崎で活躍した歴史上の人物と比べると、認知度も低く、魅力も感じにくいと思うので、まずは親しみを持ってもらうこと、簡単に何をした人か、どんなに大切な活躍だったのかを知ることが第一。例えばTVで短い、1～2分のPR動画を流すとかしてみたらいいかもしれない。
- ・3年ほど前に神戸周辺を訪ねた際、明石海峡大橋下の舞子公園内で孫文記念館(移情閣)を見学し、このような施設があることを初めて知った。国内には他にも孫文に因んだ施設や記念するものがあるのではないと思うが、孫文の日本における足跡をたどる形で一度総ざらいして公開してはどうか。
- ・過去にあったかも知れないが、歴史文化博物館等で企画展をしていただけたらと思います。